

ト称し何等具体的の決定シ見又平後四特復有耶無耶ニ引揚ケタ

11

六、左過

(1) 事業主側

六日夜より暴力団約十名ヲ雇入レ工場内、警備工從事セシ
メタル力七日朝八時復職工入場、際工場西門附近ニ於テ暴
行シ爲シ所轄大崎署ニ於テ二名検索シタル爲メ右暴力団ツ
漏窓セシメタリ 然レテ一方争議固ト、折衝ハ事業主、後
元前記河辺支那人(弁護士)專ラ当ルコト、レ當企事業体
止天子期レ更ニ職首手高ニ因ニテハ現在發表一信額二十八
日介シ支給スル予定ニテ退ム様様ナリ

(2) 勞働者側

前下呂川町南子川三ノ木八四〇ニ争議因本部ニ設置シ七日
午前六時三十分内金魚集会ノ決議ノ結果一応入場スルコト

八月來、予想
本争議ハ前記、如ク角筈工場争議ト(別報)連絡ヲ深リ共同
戦線ヲ張ツテ対抗久ルニト予想セラル、テ以テ相處紛糾セ
シ

右及申(通)報候也